

# International Friendship Project

代表者 Rodriguez Jader (教育M2年)  
構成員 Phanthamixai Soudalee (経済M1年) 焦凝 (経済M2年) 安武宏祐 (経済B4年)  
森佑紀 (経済B3年) 藤本美貴 (経済B2年)  
香川苑子 (人文B1年)

## 1. はじめに

山口大学では留学生と一般学生と交流の場が少なく、お互いに興味があっても仲良くなる機会がなかなかありませんでした。そこで私たちはこのプロジェクトを企画し、多くの人々が“留学生”と“一般学生”というような区分なく Friendship を築けるようにイベントを計画・実行して来ました。さらに、地域の人々との交流の機会も設けました。時間的な余裕がなかったことから困難に思ったこともありましたが、このプロジェクトを通じて多くの人々が知り合いになれたことを私たちは誇りに思っています。

## 2. 通年間の活動

### 2.1 Welcome Party

日本に来たばかりの多くの留学生と日本人留学生との出会いの場としてパーティーを開きました。このパーティーは年2回(2009年5月16日と2009年10月31日)に行いました。初対面の参加者がお互いのことをもっと知るために、レクリエーションを行います。これらのパーティーを通じて、留学生と日本人学生の交流が盛んになりました。特に、後期の Welcome Party (2009年10月31日)の際、ハロウィンテーマで約100人も参加しました。参加者に仮装してもらい、仮装コンテストやゲームをしました。とても楽しい時間を共有することができました。



パーティーの様子

### 2.2 留学生と交流バスツアー：2009年10月25日(日)

何先生のご協力をいただき、バスを貸し切って下関まで日帰りツアーに行きました。このバスツアーは、15名の留学生と15名の一般学生をメールの優先順で申し込むことにしました。参加者30名とスタッフ10名となりました。バスの中では、往路の際にくじで席を決め、お互いをよく知るための質問を用意し、隣同士(パーナー)でその質問をし合ってもらいました。現地で午前中には7人くらいのグループを作って観光地を巡りながら、グループで試合し合って観光地についての知識を答えてもらいました。お昼には唐戸市場で自払いの購入した食事を広場でみんなと一緒に食べました。最後に下関海遊館の中で2時間の自由観察を

しました。このツアーでは後期に来たばかり留学生も参加しており、バス内で復路の際には、自分のパートナーを皆さんに紹介し、新しい友達ができる機会となりました。すなわち、下関の観光地で一緒に有意義な時間を過ごすことができました。



下関日帰りツアー

### 2.3 地域交流イベント：2010年1月30日（土）

「ひらかわ風の会」にご協力をいただき、平川地域交流センターで8カ国の料理を作ることができました。参加者40名であり、その中に山口大学の留学生と一般学生が約20名と、ひらかわ風の会に依頼した地域の方が20名を募集しました。この企画では、山口大学の留学生たちと地域の人たちが協力して各国の伝統料理・デザートを作りました。この企画を通じて、大学内だけではなく、地域にまで交流の場を広めることができました。特に、たくさん子どもたちが参加してくれて、留学生や外国に関心を持ったようでした。



地域交流イベントの様子



留学生と地域の人たち

### 3. おわりに

私たちは以前にも留学生と日本学生との交流会を開いていましたが、財力がないため今回のような大きな交流会を開くことができませんでした。この一年間、おもしろプロジェクトを通じて、私たちはたくさんの経験を積み、たくさんの人々と出会いました。特に、大学内の留学生と日本人学生はよい仲間になり、以前よりも異文化を体験できるようになりました。さらに、地域との交流もより深くなり、山口大学つまり山口地域との国際的な関係を結ぶ機会となりました。しかし、活動と企画による複雑な財務のやり取りが活動の進行を混乱させることがありました。他国から来た留学生に対応でき、手回しがよくなるように、今後もさらなるご協力を期待しています。最後に企画が成功したことに対して、YUISAの留学生を代表し、心より感謝いたします。